

中部様式
(調査事業)

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 (全体)

豊山町地域公共交通会議

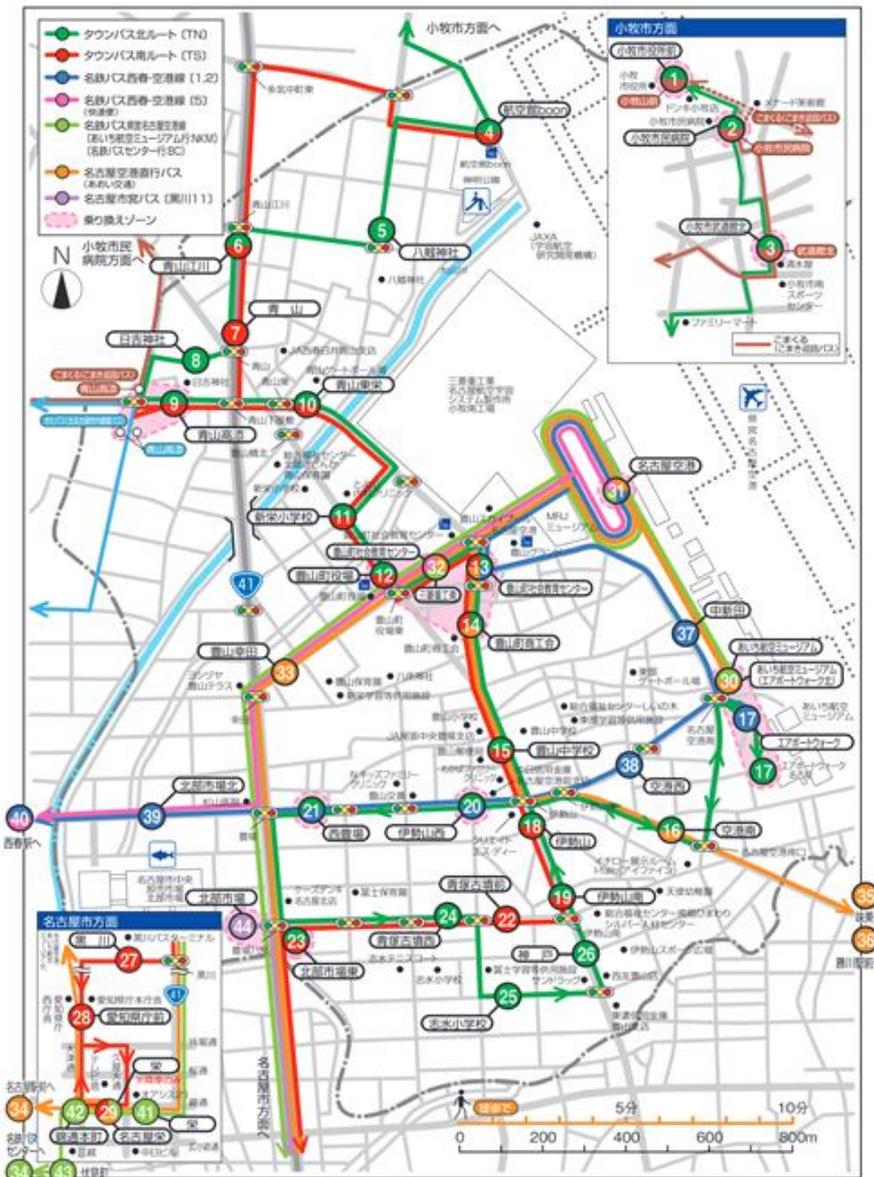
平成22年5月11日設置

調査事業 (計画策定) 令和7年3月 第3次豊山町地域公共交通計画策定
予定

調査の背景および必要性

-  豊山町の人口は約16,000人(令和6年12月1日現在)、名古屋市ベッドタウン。面積は県内最小の約6km²で、そのうちの約1/3が県営名古屋空港関連用地。住宅地や各種施設がコンパクトにまとまっている。
-  幹線道路網は充実している一方、**鉄軌道がなく、主にバス路線が公共交通網を形成。**
-  令和6年度町民意識調査では、**約37%が町の公共交通が不満**と回答。
-  本町が運行経費を負担している「とよやまタウンバス」は、町が年間約4,000万円を負担。利便性の確保と、財政負担とのバランスを考慮しながら、利用ニーズに合わせた公共交通手段の確保が求められている。
-  現在、町の北部地域で愛知県基幹的広域防災拠点（以降、広域防災拠点と表記）の整備が進められており、将来的には交通需要の変化に対応したバス路線の確保が必要。
-  総合計画に掲げる基本理念「小さくてキラリと輝くまちづくり」の実現に向けて、公共交通を利用して**誰もが、安全・安心で便利に行きたいところへ移動することができる公共交通環境の充実を目指す**ことを目的として、計画の策定を行う。

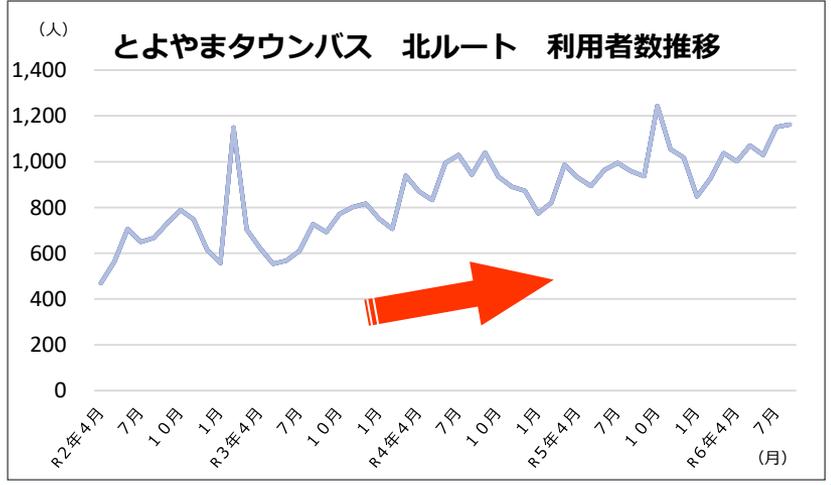
豊山町における公共交通ネットワーク



とよやまタウンバスについて

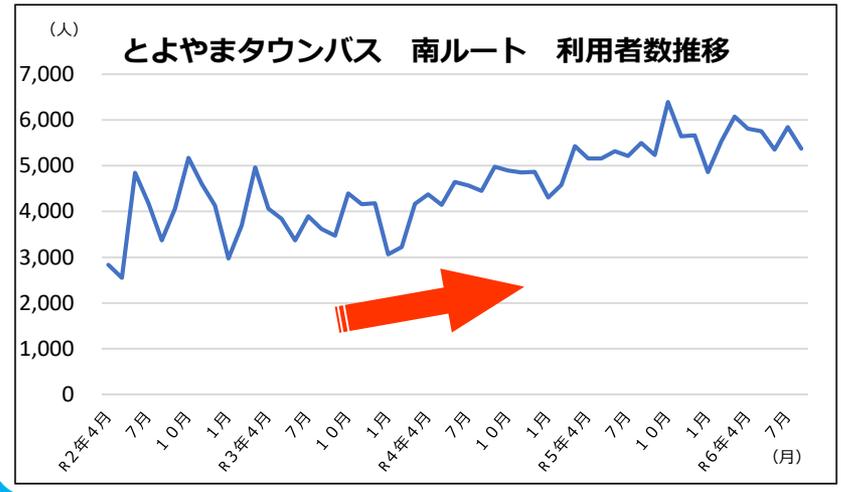
北ルート

- 小牧市役所前（小牧市）と北部市場東（豊山町）を結ぶ路線
- 平成30年度から大型商業施設「エアポートウォーク名古屋」へも乗り入れ
- 主に**通院・買い物**で地域の移動を支える
- 利用者は令和2年度からの5年間で**増加傾向**



南ルート

- 航空館boon（豊山町）と名古屋栄（名古屋市）を結ぶ路線
- 主に**通勤・通学・買い物**で地域の移動を支える
- 利用者は令和2年度からの5年間で**増加傾向**



町負担率

利用者は増加しているものの...負担率は車両購入費や人件費、燃料費の高騰等で**年々増加傾向**にある。(負担率 = 運行負担金 / 定額経費)

H30	R1	R2	R3	R4	R5
58.5	62.9	79.5	65.0	72.1	71.2

↑コロナ特例国庫補助含む

実施した調査およびその結果明らかになったこと①

事業内容	結果概要
<p>地域公共交通利用実態に関する調査</p> <p>☞地区の代表を招いて住民懇談会を開催。地区ごとのバス利用実態や問題点について意見交換</p> <p>参加者：計18人</p> <p>☞町民の地域公共交通の利用実態を把握・整理するため町民アンケート調査を実施。</p> <p>回答者：581人</p> <p>項目：バスネットワークの満足度、タウンバスの利用の有無、改善点、タウンバスの満足度</p>	<p>☞ 住民懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の北部の住民は、バス路線や本数が少ないと感じている人が多い。 ・本町では、<u>移動を自家用車に依存</u>しており、<u>免許返納が容易ではない</u>。 ・バスを利用したことがなく、<u>どんなバスが走っているか知らない方や利用方法がわからない</u>という理由で使わない方がいる。 ・<u>最終バスの時刻が早い</u>と感じる住民が多い。  <p>R6.8.24住民懇談会の様子</p>
	<p>☞ 町民アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町のバスネットワークの満足度について、非常に満足・満足と答えたのは全体の21.9%、<u>やや不満、非常に不満は37.5%</u>。 ・<u>タウンバスを利用したことがない方が43.5%</u>。 ・タウンバスの満足度について、非常に満足・満足と答えたのは全体の13.4%、<u>やや不満、非常に不満は34.6%</u>。

実施した調査およびその結果明らかになったこと②

事業内容	結果概要
<p>各バス路線の利用者数の把握</p> <p>☎とよやまタウンバスのOD調査により、利用者の実態を整理。</p> <p>項目：乗降場所、利用目的、年代、利用頻度、支払方法、居住地</p> <p>☎町内を走るバスの利用者を対象としたアンケート調査を実施。</p> <p>路線：あおい交通名古屋空港直行バス 名鉄バス西春・空港線 名古屋市営バス黒川11号系統</p> <p>項目：移動目的、乗降場所、出発地、目的地、移動頻度、支払方法、職業、居住地、自由意見 等</p>	<p>☎ タウンバスOD調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日：「通勤」、「買い物」を目的として、移動する方が多く、南ルートは名古屋栄、黒川など、他の交通との結節点までの移動に使われる傾向。北ルートは、病院や大型商業施設への移動が多い。利用者は「40代」、「50代」が多く、支払方法は回数券や現金が多い。 休日：「買い物」、「観光」を目的として、特に名古屋栄や大型商業施設での乗降数が多い。利用者は「20代」が多く、支払方法は現金が多い。 <p>☎ バス利用者アンケート調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港に接続する路線は、観光目的の利用が多い。2番目が、ビジネス関連利用。観光のために初めて利用する方も多い。 どの路線も60代以下が主に利用しており、利用者の約1割程度を学生が占める。 北部市場へ接続する路線は、圧倒的に市場への通勤利用が多い。 日常的な利用者から、本数や時間帯の見直しの希望あり。

実施した調査およびその結果明らかになったこと③

事業内容	結果概要
<p>第3次豊山町地域公共交通計画(案)のとりまとめ</p> <p>調査結果をもとに、問題点や課題を整理。地域にとって望ましい公共交通についての基本方針をまとめる。</p>	<p>第2次計画の考え方を踏襲しつつ、公共交通環境の改善や、持続可能な交通の実現に向けた計画を交通に関わる様々な主体が連携して取り組むための計画を策定。</p> <p>名古屋大学大学院環境学研究科の学術支援を受けて、調査・分析を進めた。</p> <p>計画期間：令和7年度～令和11年度（5年間）</p> <p>基本方針：「自動車に頼らなくても、子どもや高齢者も安心して町内を回遊するとともに、町外への通勤・通学や買い物、通院など生活に必要な施設に行きやすい公共交通環境の充実」</p>
<p>豊山町地域公共交通会議開催</p> <p>計画策定に向けた調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための公共交通会議を開催。</p>	<p>交通事業者、利用者、学識経験者、関係行政で構成された公共交通会議を開催。</p> <p>計画策定に係る調査結果の報告や、目標指標、計画期間中に実施する内容について協議し、計画に反映。</p> <p>【会議日程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議：令和6年6月 ・幹事会：令和6年10月 ・第2回会議：令和6年12月 ・第3回会議：令和7年2月

実施した調査およびその結果明らかになったこと【課題】

- ・ 70歳以上の高齢者のバス利用が少ない
- ・ バスの乗り方がわからない方への周知の必要性

**Ⓐ 高齢者が
利用しやすい交通**

- ・ 広域防災拠点への移動手段の確保
- ・ 様々な交通モードの乗り入れの検討

**Ⓒ 広域防災拠点の整備を
見据えた交通**

- ・ 自家用車への依存による排気ガスの発生

Ⓑ 環境への対応

- ・ バスの路線や本数、運行時間の見直しへの希望
- ・ 利用したことがない層へのアプローチ
- ・ 様々な支払方法へのニーズ対応

Ⓓ バスの利便性向上

基本方針

調査結果や関連計画が目指すところを踏まえ、第1・2次計画に引き続き、「**自動車に頼らなくても、子どもや高齢者も安心して町内を回遊するとともに、町外への通勤・通学や買い物、通院など生活に必要な施設に行きやすい公共交通環境の充実**」に取り組む。

計画の目標

- ① **人にやさしい安全な交通**
- ② **まちの機能や魅力を高める利便性の高い交通**
- ③ **環境にやさしい持続可能な交通**
- ④ **公共交通の確保や維持、改善**

計画の目標指標

目標指標	単位	R11目標値	R6現状値
バスネットワークに対する住民満足度	%	令和6年度より10%増	21.9 (R6年度調査) (非常に満足・やや満足と回答した数)
とよやまタウンバス利用者満足度	%	令和6年度より10%増	13.4 (R6年度調査) (非常に満足・やや満足と回答した数)
バス停から300m範囲内の人口カバー率	%	97.0	97.0 (R5年度)
豊山町を走るすべてのバスの年間利用者数	人	2,224,000	2,080,294 (R5年度)
とよやまタウンバスの年間利用者数	人	80,000	77,663 (R5年度)
高齢者割引利用者数	人	14,594	4,723 (R6.9~12)
とよやまタウンバスの町負担率	%	70.0	71.2 (R5年度)

目標達成のために行う事業①

Ⓐ 高齢者が
利用しやすい交通

Ⓑ 環境への対応

Ⓒ 広域防災拠点の整備を
見据えた交通

Ⓓ バスの利便性向上

「① 人にやさしい安全な交通」のために行う事業

🚌バスの待合環境の整備

- ・ 社会教育センターの乗り換え拠点化➡待合機能強化・サイクル&バスライド拠点・・・Ⓓ
- ・ バスロケシステムによる運行状況の提供・・・Ⓓ

👴高齢者の移動支援

- ・ 75歳以上の高齢者へ「おでかけパス」の交付➡タウンバス無料化・・・Ⓐ
- ・ 介護が必要な方、障がいのある方へのタクシー利用券交付・・・Ⓐ
- ・ 運転免許自主返納者へのタウンバス回数券又はタクシー利用券交付・・・Ⓐ

「② まちの機能や魅力を高める利便性の高い交通」のために行う事業

🚌バスの利便性の向上

- ・ とよやまタウンバスの車両更新・・・Ⓓ
- ・ 新たな運賃支払い方法の導入・・・Ⓓ



タウンバス車両
(ポンチョ)



自動運転車両
(Minibus)

👤新たな交通サービスの活用

- ・ デマンド型交通（乗合タクシー）の実証実験の実施・・・Ⓐ
- ・ 県営名古屋空港周辺を自動運転の実証実験の場として活用・・・Ⓒ

目標達成のために行う事業②

A 高齢者が
利用しやすい交通

B 環境への対応

C 広域防災拠点の整備を
見据えた交通

D バスの利便性向上

「③ 環境にやさしい持続可能な交通」のために行う事業

自動車に過度に依存しない交通行動の促進

- ・ 町内を走る全バス路線図を網羅した**総合バスマップ**の作成 D
- ・ 利用者の属性に応じた**マイ時刻表**の作成 A

自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備

- ・ 自転車利用者への**マナー啓発**活動 B
- ・ 65歳以上の高齢者や未成年者への自転車用**ヘルメット購入補助** B
- ・ GWや年末年始等の道路混雑時期に公共交通の利用を呼びかけ B
- ・ **サイクル&バスライド**の促進 B

R6.12.1現在
豊山町公共交通マップ
<https://www.town.toyoyama.lg.jp/kurashi/koutu/index.html>

豊山町は、バス路線が充実しています。名古屋市内、小牧市へ、春日井市へ、百鬼塚へへ、日産市へも乗り入れて、通勤・通学に便利です。

とよやまタウンバス（セカンドTN南ルート）
 ・名古屋市内、小牧市に乗り入れています。豊山町内は100円OK
 ・日産市にも乗り入れています。町内をくまなく回ります
 ・高山高原でこまぐるにまき通（バス）きたバス（北名古屋市・内海バス）に乗り換えできます

名城バス西春・豊清線（1,2,5）

・西春駅まで約20分
 ・manacaをはじめ全国の交通系ICカードが使えます

名城バス豊山名産産地線（1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11）

・名古屋駅まで約33分。一駅にも止まります
 ・manacaをはじめ全国の交通系ICカードが使えます
 ・お得意な回数券があります（スマホアプリ「バスもり」でのみ販売）

あおい交通名古屋豊清線バス

・名古屋駅まで約30分。往路のみ乗（豊清線）にも止まります
 ・春日井市の名鉄味美駅（JR豊川駅へ行く）便もあります
 ・お得意な回数券があります（車内等で販売）

◎お祝い交通名古屋豊清線バス・R6.10.27ダイヤ改正

「④ 公共交通の確保や維持、改善」のために行う事業

既存バス路線の確保・維持

- ・ **地域公共交通確保維持改善事業**補助の活用 D

路線・運賃の改善

- ・ 主要施設への延伸や近隣自治体との**相互乗り入れ**の協議 C
- ・ 乗り換えを見据えた運行時刻の見直し D
- ・ わかりやすく**合理的な運賃体系**への見直し D

毎年度の標準的な実施スケジュール

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域公共交通会議			①					②				③
主な行事			◆ (確保維持改善計画)					○ (エコ通勤デー実施) ◎ (公共交通マップ作成 ※冬ダイヤ用)	○ (公共交通マップ作成 ※春・夏ダイヤ用) ★ (次年度予算要求)		◆ (第三者評価委員会)	
実施すること	前年度事業評価に基づく改善と反映 A →			次年度事業計画の検討 P →					今年度事業の検証 C →	実施状況の確認、評価、課題の共有、改善検討 A →		次年度へ D →

🚌 PDCAサイクル (Plan→Do→Check→Action→Plan...の順) に基づき、毎年度、事業評価を行い、改善と反映を実施します。

🚌 計画期間の最終年度 (令和11年度) には、計画全体の評価と次期計画への反映を行います。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和7年1月16日

協議会名:豊山町地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p style="text-align: center;">【事業内容及び結果概要を記載】</p>	<p style="text-align: center;">A・B・C 評価</p> <p>【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】</p>	<p style="text-align: center;">【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】</p>
<p>【地域公共交通利用実態に関する調査】 町民の普段の移動状況や路線バスの利用頻度等、地域公共交通の利用実態を把握・整理するために利用者アンケート調査及び住民懇談会を実施する。</p> <p>【各バス路線の利用者数の把握】 OD調査により、路線バスの利用者の実態を整理する。また、バス利用にかかる詳細データや住民・バス利用者のニーズ等を把握するとともに、豊山町の公共交通の活性化・利便性向上に向けての様々な検討課題の方向性を探る。</p> <p>【豊山町地域公共交通計画(案)のとりまとめ】 調査結果をもとに、より利便性の高い公共交通網の形成にあたっての問題点や課題を整理し、上位計画や関連計画を踏まえつつ、地域にとって望ましい公共交通網のあり方についての基本方針をまとめる。また、基本方針に沿って、より利便性の高い公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画を取りまとめる。</p> <p>【豊山町地域公共交通会議開催】 計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための公共交通会議を開催する。 (第1回会議:令和6年6月、幹事会:令和6年10月、第2回会議:令和6年12月、第3回会議:令和7年2月)</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>事業は適切に実施された。 とよやまタウンバスのOD調査や他のバス利用者へのアンケート調査を行い、利用者の実態を把握した。また、住民懇談会の開催により地区ごとの利用実態や課題を把握することで、本地域で本当に必要とされる公共交通ネットワークの検討を行った。 上記調査検討を踏まえ、第二回豊山町地域公共交通会議において豊山町地域公共交通計画(案)を承認、パブリックコメントを経て第三回豊山町地域公共交通会議において確認ののち、年度末までに豊山町地域公共交通計画を確定、公表を予定。</p>	<p>【補助対象事業名】 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>【事業内容】 令和6年度豊山町地域公共交通計画策定事業</p> <p>【実施時期】 令和6年6月25日～令和7年3月31日</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月16日

協議会名:	豊山町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)
	<p>豊山町第5次総合計画に掲げる基本理念「小さくてキラリと輝くまちづくり」の実現に向けて、公共交通を利用して誰もが、安全・安心で便利に行きたいところへ移動することができる公共交通環境の充実を目指すことを目的として、上位計画や関連計画との整合を図りつつ、計画を策定する。利用者アンケート調査及び路線バスOD調査を行い、計画策定の基礎とするほか、とよやまタウンバスの利便性の向上や新たな交通サービス導入の検討を行う。</p>